

情報コーナー

★会合やイベント

支部会のご案内

◆近畿支部会

日程：6月20日（日）午後の予定（講演数が多ければ午前中も開催します）

場所：zoomによるオンライン開催

テーマ：天文学史・天文民俗学とその教育普及利用

本会の年会や支部会では狭義の教育普及に関する発表だけでなく、天文学の歴史学や民俗学的アプローチに関する発表も教育普及に絡めて行われてきました。異なる切り口は異なる興味関心を持つ層へのアプローチに有効です。需要があるにもかかわらず企画セッションなどを除けば天文学史・天文民俗学に関する内容をまとめて発表・聴講できる機会は少ないです。今回の近畿支部会では近畿支部ならではの挑戦的な試みとして募集テーマとして設定することにしました。北尾浩一氏に招待講演をお願いしています。天文学史・天文民俗学等そのもの、それに関する教育普及利用、いずれも募集いたします。

テーマ以外の一般発表も受け付けています。募集は5月に入ってから開始しますので日程確保したうえで是非ご準備ください。

催し等のご案内

◆第11回高校生天文活動発表会-天文高校生集まれ！！

日時：2021年7月18日（日）午前10時から午後4時（予定）

方法：Zoomによるオンライン形式

内容：高校生の天文関連活動、研究成果の発表と交流

参加対象：高校生と顧問教員、指導者、保護者

※発表をする生徒・教員・保護者以外の参加も大歓迎です

定員：先着順で300名まで

参加費：無料

発表について：口頭発表（質疑込みで12分）またはショート発表（3分）

今回は、ポスター発表は実施しません。

口頭発表は先着順10件まで、ショート発表は6件まで。

なお、発表する学校・聴講のみの学校とも学校紹介をお願いいたします。

特別講演：「アインシュタインはどこまで正しい？ 検証が進む相対性理論」

講師 大阪工業大学 真貝寿明教授

アインシュタインが相対性理論を提唱したのは100年以上も前です。時間と空間が歪むという理論の予言は、ようやく実験や観測で精密に検証されるようになってきました。2019年にはじめて公開されたブラックホールの写真、2020年に発表された東京スカイツリーでの時間の進み方の実験検証、そしてこれから明らかになる重力波の話など、いま研究者が取り組んでいる話題を紹介します。

主催：高校生天文活動発表会実行委員会

共催：大阪教育大学

代表：西村昌能（京都教育大学非常勤講師）

実行委員：成田 直（元川西市立北陵小学校）、有本淳一（京都市立京都工学院高校）、時政典孝（佐用町）、山田隆文（奈良県立青翔高校）、松浦美波（大阪狭山市立北小学校）、松本基希（大阪府教育センター附属高校）、松本 桂、福江 純、定金晃三（大阪教育大学）

後援：日本天文学会、日本天文教育普及研究会

ホームページ：<http://quasar.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/tenmon-hs/>

問い合わせ先：tenmon-hs11@quasar.cc.osaka-kyoiku.ac.jp

申し込み方法：下記を申込先まで電子メールでお知らせください。

お申込み・お問合せ：高校生天文活動発表会実行委員会

（tenmon-hs11@quasar.cc.osaka-kyoiku.ac.jp）

申し込み締め切り：7月7日（水）または定員になり次第

1：件名に「【天文高校生】」とお書きください。

2：学校名および部活動名

3：指導者または保護者氏名

4：連絡先電話番号

5：連絡先電子メールアドレス（なるべくPC）

6：参加全生徒氏名（学年）

7：発表の有無 口頭、ショート発表（複数の場合はコピーしてください。）

発表タイトル（ ）

発表者（ ）

8：Zoomに接続するPC等の台数（ ）

9：予稿（A4紙1枚、ワード形式）。提出は7月7日までをお願いします。

予稿は事前にネット上で公開しますので、支障がある生徒名は配慮をお願いします。

予稿集は発行しませんので、プリントしてご利用下さい。